



スピリチュアルケアの可能性

□オンライン開催

死生学研究所ホームページから
お申込みください

□お申込み締め切り

2022年1月19日(水) 17時

□先着 100名様

□お問合せ 死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□参加費 無料

第7回連続講座

1月22日(土)

16:20-17:50

■プロフィール

1991年東京大学医学部医学科卒業後、帝京大学医学部神経科学教室に入局。1997年英国ケンブリッジ大学精神医学博士号取得。2008年から2021年3月まで帝京大学医学部教授・附属溝口病院精神科科長。2021年4月より帝京大学溝口病院精神科客員教授。2021年9月より一般社団法人日本うつ病センター・六番町メンタルクリニック院長。専門は臨床精神医学と自殺学で社会心理学や宗教学にも関心を寄せている。現在、日本自殺予防学会理事長、日本臨床死生学会副理事長、日本外来精神医療学会常任理事、日本うつ病学会理事、日本祈りと救いとこころ学会理事などを務める。

■主要業績

「人はなぜ自殺するのか」(勉誠出版)、「うつ病新時代—その理解とトータルケアのために」(平凡社新書)、「自殺予防の基本戦略」(責任編集、中山書店)、「うつ病診療の論理と倫理」(共同編集、学樹書院)

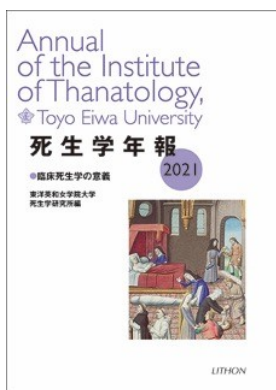
張 賢徳 (ちょう しのり)

帝京大学溝口病院精神科客員教授
一般社団法人日本うつ病センター・
六番町メンタルクリニック院長
日本自殺予防学会理事長

自殺について考える

内容紹介：

皆さんはどのような自殺観をお持ちでしょうか？積極的に自殺を考えている人は少ないと思いますが、自殺を肯定する人は案外多いのではないかと私は感じています。その背景には切腹文化や宗教観が関係していると思います。それが「自殺は本人が決めたことだから仕方がないのではないか」という考えにつながっているように思えます。しかし、自殺の実態はどうなっているのでしょうか。精神医学から見た自殺の実態についてお話ししたいと思います。病的な精神的変調が介在する自殺は治療や予防の対象です。そうではない理性的な自殺については、死生観に行きつく事柄ですから一筋縄ではいきませんが、自殺問題を糸口にして自らの死生観を考える機会にさせていただければと思います。



東洋英和女学院大学死生学研究所編 死生学年報2021

臨床死生学の意義

◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます。

◆お問い合わせ先 東洋英和女学院大学 死生学研究所
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

〈予告〉

◇第8回〈公開〉連続講座 2月19日(土) 16:20~17:50

田中智彦(本学人間科学部教授)

